

2017年2月2日  
在リオデジャネイロ日本国総領事館

## リオ州の治安情報第8号

### セントロ地区で抗議デモが開催

2月1日（水）午前から午後にかけて、セントロ地区の州議会議事堂（通称チラデンテス宮殿）前において、州政府職員の賃金、年金等に関する法案の改訂に反対する大規模な抗議デモが実施されました。

抗議デモを通じて、一部の過激なデモ参加者が火炎瓶の投擲を行い、これに対して軍警察がゴム弾や催涙弾等で応戦しました。午後2時頃、州議会議事堂近くのリオ・ブランコ（Rio Blanco）大通りにおいて、覆面の男達がバスに放火し、大きな火災となったため、現場周辺はパニックとなりました。

周辺では大規模な交通渋滞が発生し、周辺の道路交通が麻痺したほか、現場付近の地下鉄駅（カリオカ駅）が数時間にわたって閉鎖されました。

以下当地主要紙「オ・グローボ」電子版「G1」より

<http://g1.globo.com/rio-de-janeiro/noticia/servidores-protestam-na-reabertura-dos-trabalhos-na-alerj.ghtml>

また、州軍警察によれば、軍警察官に発砲しようとしたとして、文民警察特殊部隊（CORE）の隊員1名が逮捕されるなど、大きな混乱が生じています。

リオ州軍警察では、今後も同様のデモが継続する可能性があるとして、セントロ地区周辺のデモに対する警戒を強化する方針です。

#### 【当館より】

当面の間、特に午後の時間帯にはセントロ方面への不要不急な外出は避けるとともに、抗議活動に遭遇した場合には、以下の点に注意してください。

- （1）抗議活動に遭遇したら、事態が沈静化するまで安全な屋内に避難して下さい。
- （2）デモが始まりそうな予兆を感じたら、直ぐにその場を離れて下さい。
- （3）抗議活動の後半時間帯は特に注意して下さい。過去に行われた抗議活動では、平和的に行われていたものが、解散間際になって（一部過激なグループに扇動され）破壊行為に発展する事案が多く見られます。抗議が終息しそうだからといって、安易に現場に近づかないようにしましょう。